

# 子どもの森の健康診断in檜川小中学校



令和6年9月6日(金)

檜川小中学校4年生・教員、学校支援ボランティア

一般社団法人塩尻市森林公社

# 檜川小中学校4年生（8名）の皆さんと 「子どもの森の健康診断」を実施しました。

## 1. 学び

実施日当日は天候に恵まれ、暑すぎず、寒すぎず、木の葉が揺れ、森の独特な香りが漂う中「森の健康診断」を行いました。

まずは教室で森の勉強です。公社職員から、木の種類や森のはたらき、森林整備の必要性などについて、紙芝居や写真を使って学習します。



## 2. 調査

調査開始。

まずは、目を閉じ、耳を澄まして、五感で森を感じます。鳥のさえずりや草木の香り、地面の感触や明るさなど、それぞれに感じたことを発表し合います。



釣り竿などを使って木の混み具合を調べます。また、木の胸高直径を巻尺を使って調べます。測り終わったら「早見表」を使って混み具合の診断です。

### 3. 体験

いよいよノコギリを使って木を伐倒します。

木を伐るにはまず、「受け口」と「追い口」を作ります。ふだん使ったことのないノコギリに苦戦しながら、一生懸命伐ります。後はみんなで力を合わせ、ロープを引っ張り倒します。



間伐したことで、空が開きます。間伐はとても大事な作業。これで、日光も当たり、草木が生えてることで森が健康になります。

